

平成21年度 尊厳擁護専門委員会 開催報告

【活動実績と今後の課題等について】

1 開催状況

	開催日	内 容
第2回	12/8 (火)	・平成21年度上半期における事故、苦情相談、介護サービス相談員派遣事業に関する報告について ・虐待の疑いと思われる事例(2件)の調査結果について

2 主な活動実績

(1)平成21年度上半期介護事故、苦情、相談、介護サービス相談員派遣事業に関する報告について

ア 事故報告件数は、平成21年度上半期で789件発生しており、前年度上半期の483件に比べ増加している。主な理由として介護事故の報告要件について、平成21年4月から、従来の「病院受診により治療を要した事故」から「治療の有無を問わず病院受診した事故全て」に要件変更した事が影響している。増加した事故種類としては転倒、転落等となっている。

これに対して、委員から、

- ・事故防止の取り組みとしては、利用者の状況把握をより適切に行うために、利用者の家族や医療施設との連携が、今後さらに必要になってくる。

との意見があった。

イ 死亡事故については、平成21年度上半期で10件発生しており、そのうち7件が誤嚥による窒息、転倒1件、入浴中の溺水が1件、自殺が1件となっている。

これに対して、委員から、

- ・誤嚥事故については、事故前の課題分析(アセスメント)の段階でケアマネが気づく事や、施設等においては嚥下能力に対して詳細なアセスメントができる職員を育成する必要がある。また、利用者にとって、可能な限り食事を楽しんでいただけるよう、工夫して食事を提供しようとする取り組みもある。入浴中の溺水については、身体機能の低下した高齢者にとって安全に動作できるよう、手すりや浴槽底部への滑り止めマットの設置などの工夫が必要である。

との意見があった。

(2)虐待(疑)に関する事実確認について

ア 今回2件について調査結果を報告し、すべての案件において虐待の事実を確認できなかった。

これに対して、委員からは、

- ・虐待(疑)のあった施設に対して職員配置など、労務管理部分での継続的なフォローアップの必要がある事や、介護サービス相談員派遣事業の活用が求められる。また、介護事業者が人材を確保する事に精一杯で育成まで至っていない状況が懸念される。

等の意見があった。

3 今後の課題・予定

(1)事故再発防止の取り組みの充実について

転倒事故については、事故事例に基づく高齢者の共通事項について、多面的な分析が必要、との意見があった。